

## (一般教養科)

### (区 分 A)

#### アメリカの「1人1票」原則

岩倉秀樹

新居浜工業高等専門学校一般教養科

中・四国アメリカ研究創刊号、PP29-59 (2003)

アメリカ連邦最高裁の「1人1票」原則(“one person, one vote” rule)の適用を見た場合、人口偏差の許容基準に着目すれば、州・地方選挙への適用は連邦選挙よりも制限的である。しかし連邦選挙でこの原則の適用は下院選挙だけなのに対し、州議会は上下両院ともに適用があり、さらに州議会のみならず州・地方のすべての公務員の選挙に適用があるので、この原則は連邦政府より州・地方政府を広範囲に拘束し、とりわけこの原則の地方政府への適用が現在も論争になっている。

#### 学生主導型の寮を目指して 一全寮制から任意業制への移行を踏まえて一

畠田博範<sup>1</sup>、今城英二<sup>1</sup>、竹田 正<sup>2</sup>、朝日太郎<sup>3</sup>、宮田 剛<sup>4</sup>、衣笠 巧<sup>5</sup>

<sup>1</sup>新居浜工業高等専門学校一般教養科、<sup>2</sup>新居浜工業高等専門学校数理科、<sup>3</sup>新居浜工業高等専門学校材料工学科、<sup>4</sup>新居浜工業高等専門学校機械工学科、<sup>5</sup>新居浜工業高等専門学校生物応用化学科  
高専教育、vol.26、591-596 (2003)

本校では学寮を教育寮と位置付けて、平成3年度から学生主導型の学寮運営に積極的に取り組んできた6しかしながら、心身共に大きな成長期にある高専学生が学年を越え共同生活を営む学寮運営には問題点が多く、学寮運営に携わる教職員にも重圧が懸かってくる。一方、平成14年度より、本校の学寮は全寮制から任意寮制へと移行した。学寮の姿勢としては、従来通り教育寮としての考えを堅持するつもりである。しかし、「任意」という言葉は、寮を安価な厚生施設と捉えられる危険性を伴っている。このような環境の中、学生主導型の学寮運営を目指すためには、寮生自身の意識改革が最終到達目標となる。特にリーダーの育成が最も重要である。リーダー寮生の意識改革が一般寮生の意識改革につながり、寮生の自主性・積極性等の「やる気」を向上させ、何事に対しても前向きに取り組む姿勢を育てることにつながると考えられる。本稿では、新居浜高専における寮生会活動の状況と成果を紹介し、具体的な体験を通じて得た、高専にとって望ましい学生主導型の学寮運営に関する我々の見解を述べた。

#### ドイツ語の授業で映画を使う、「走れ、ローラ」(トム・ティクヴァ,1998年)を素材として

木本 伸

新居浜工業高等専門学校一般教養科

論文集『高専教育』、第26号、pp483-488、(2003,3)

本論は、これまでの授業実践にもとづき、ドイツ語の授業で映画を使う方法と具体例を紹介したものである。

### (区 分 B)

#### ジョン・ドリンクウォーター 叙情詩

塚野 耕、塚野 修

新居浜工業高等専門学校一般教養科

大阪教育図書 平成14年10月1日

本書はイギリスの詩人John Drinkwater(1882-1937)が自らの詩論を著した著書*The Lyric*(1915)の邦訳である。

## (区 分 C)

### 一条兼良の社会観と思想

板野 哲\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

新居浜工業高等専門学校紀要第39巻, pp57-65, (2003.2)

一条兼良の社会観、思想に分析を加え、神道、儒教、仏教から成る「三教一致」の思想を通じて、政治、社会および処世のあり方を示し、あわせて天皇、公家の存続を説いていることを明らかにした。

### 生命倫理学入門(4)

谷本修治\*

\*新居浜工業高等専門学校一般教養科

新居浜工業高等専門学校紀要第39巻, pp67-76, (2003.2)

本論は、クローン技術について考えるために、クローン技術の実際についてと、クローン技術の人間への応用をめぐる議論について以下のようにまとめたものである。

#### (1) クローン技術の実際

クローンとは

受精卵クローン

体細胞クローン

クローン動物作出の目的

#### (2) クローン技術の人間への応用

体細胞クローンについての確認

ヒト・クローニングをめぐる議論

### 科学時代における文学の可能性, 紹介: シルヴィオ・ヴィエッタ著『文学的近代』

木本 伸

新居浜工業高等専門学校一般教養科

高等専門学校ドイツ語教育研究会会報, 第5号, pp72 - 80, (2002, 11)

本論はドイツ・ヒルデスハイム大学のヴィエッタ教授の著書『文学的近代, ヘルダーリンからトーマス・ベルンハルトまでのドイツ語圏文学の問題史的叙述』(1992)の内容を紹介・考察したものである。

## (区 分 E)

### アメリカの「1人1票」原則

岩倉秀樹

新居浜工業高等専門学校一般教養科

広島公法研究会(広島大学)、2002年11月

アメリカ連邦最高裁の「1人1票」原則(“one person, one vote” rule)の適用を見た場合、人口偏差の許容基準に着目すれば、州・地方選挙への適用は連邦選挙よりも制限的である。しかし連邦選挙でこの原則の適用は下院選挙だけなのにに対し、州議会は上下両院ともに適用があり、さらに州議会のみならず州・地方のすべての公務員の選挙に適用があるので、この原則は連邦政府より州・地方政府を広く拘束し、とりわけこの原則の地方政府への適用が現在も論争になっている。

**『走れ、ローラ!』(トム・ティクヴァ,1998年)意志と混沌,この現代的な映画に見られる伝統的思考形式について**

木本 伸

新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本独文学会春季研究発表会(猫協大学), (2002,6,1)

概要:本発表はトム・ティクヴァ監督のドイツ映画『走れ、ローラ!』について,その背景にある意志と混沌の弁証法を考察したものである。

**『走れ、ローラ!』(トム・ティクヴァ,1998年)意志と混沌,この現代的な映画に見られる伝統的思考形式について**

木本 伸

新居浜工業高等専門学校一般教養科

日本独文学会中国四国支部研究発表会(松江市くびきメッセ), (2002,11,23)

本発表はトム・ティクヴァ監督のドイツ映画『走れ、ローラ!』について,その背景にある意志と混沌の弁証法を考察したものである。

(区 分 F)

**「円地文子の軌跡」**

野口裕子

新居浜工業高等専門学校 = 一般教養科

博士(文学)甲

関西学院大学 主査 玉置邦雄教授 平成14年7月

先ず、円地文子の作家像、作品についての研究史を考察をした。そして、円地文子の作家としての姿勢を考えていくとき、そこにいくつものコンプレックスがあることを指摘し、考えていったものである。そして、円地作品の中心にあるものとして、古典を受容した作品であるとした上で、それらの作品が古典を受容するには、その方法に一つの流れがあることを論じ、作者の考えがより強く入る形で進んできたものであると結論した。